

基本目標 I

しばれ・森林・星空が育む地域産業づくり

1 自然を活かした農業の振興	担当課
(1) 基盤の整備と経営の支援	産業振興課
(2) 流通・販売対策の推進	産業振興課
2 豊かな森の資源づくり	担当課
(1) 緑豊かな森林の育成	産業振興課
(2) 森の資源の有効活用	産業振興課
3 地域を支える活力ある商工業づくり	担当課
(1) 活力ある商工業の育成	産業振興課
(2) 地域産業と連携したブランドづくり	産業振興課
(3) 雇用の安定	産業振興課
4 個性あふれる交流・観光拠点づくり	担当課
(1) 特色ある観光資源の整備	産業振興課
(2) 観光ソフト事業の充実	産業振興課

政 策	施 策	
1 自然を活かした 農業の振興	(1) 基盤の整備と経営の支援	I-1-(1)
	(2) 流通・販売対策の推進	I-1-(2)

基盤の整備と経営の支援

担当課：産業振興課

連携課：建設課

〈現状および課題〉

本町は酪農を中心とした農業を展開していますが、農畜産物の輸入自由化への流れの中、国際的な経済社会との相互の結び付きを強めています。

世界的な人口増加や中国をはじめとするアジア諸国の経済発展により食料需要が増大するなか、食料自給率の向上が求められており、より一層効率性・生産性が高く、安全・安心な食につながる農業の基盤整備が重要となります。

一方、離農や経営の縮小などによる耕作放棄地の増加も考えられ、これらの農用地の効率的な活用に努めることも必要です。

きびしい農業環境に加え、就農者の高齢化や後継者不在による離農により、農業を支える従事者が年々減少しています。町に住む人にとって、働きがいのある農業の実現を目指し、若い世代から高齢者それぞれの価値観にあった幅広い農業展開を図ると共に、他業種からの農業参入や認定農業者の認定に積極的に取り組む必要があります。

また、ゆとりのある農業経営への転換などを進めると共に、法人化の推進、高齢者農業への対応など、多様な農業形態の普及に努めていきます。

さらに、農業・農村の役割が十分に発揮されるよう、自然環境に配慮し、将来にわたって持続できるような農業を進める必要があります。

〈基本方針〉

農業に対する多面的な役割を十分に理解し、国民の食に対する安心への配慮や自然環境と調和した農業振興に努めます。

〈主な施策〉

①農業生産基盤の整備

- ・ 生産性向上のため、農業基盤の整備推進
計画的な草地、畑地の整備や、農道、用排水施設、農業施設などの農業基盤の整備を推進し、生産性の向上を目指します。
- ・ 循環型農業の確立
家畜ふん尿の堆肥化など、堆肥の有効活用による地力向上の推進を図ります。また、農業資材のリサイクル化やパーラー排水処理施設の普及など、環境に配慮した農業を進めます。
- ・ 農地情報データベース化による農地有効活用
関係機関と連携して、農地情報のデータベースを整備して共有化を図り、耕作放棄地の解消や農地の確保と有効活用に取り組みます。

②農業経営の改善

- ・ 関係機関との連携による農業経営体の経営基盤整備
「農業経営基盤の強化に関する基本的な構想」に基づき経営体質の強化を図ると共に、経営の安定化に向けた支援を行います。
- ・ 営農技術・経営指導体制の強化
効率的かつ安定的な経営を育成するため、関係機関と連携して、営農技術・経営の指導体制を強化します。
- ・ 効率的な農業経営による経営の安定
農業コントラクターや酪農ヘルパー利用の推進、哺育事業などに取り組むと共に、TMRセンター建設の検討を進め、効率化による経営の安定化と労働過重・女性の負担の軽減を図ります。
- ・ 農業経営の体質強化
農業関係制度資金及び陸別町独自資金の活用により農業経営の体質強化を支援します。

③担い手の育成と多様な農業形態による農業の活性化

・ 後継者・新規就農者の育成・支援

陸別農業の将来を担う後継者の育成や新規就農支援のため北海道農業担い手育成センターや関係機関と連携した活動を展開します。また、認定農業者や認定志向農業者への指導や支援活動を積極的に進めます。

・ 法人化の推進と他業種からの農業分野進出

効率的かつ安定的な農業経営の実現のため、農業経営の法人化や他業種からの農業分野への進出を促進します。特に農地の有効利用や雇用・研修の受け皿として、公益的な役割が期待される地域連携法人の育成を積極的に支援します。

④陸別町の地形や気候などの特性に合った農業形態の研究・導入について、関係機関のみなさんと検討を進めます。



MEMO

第3部 基本計画
基本目標1

政 策	施 策	
1 自然を活かした 農業の振興	(1) 基盤の整備と経営の支援	I-1-(1)
	(2) 流通・販売対策の推進	I-1-(2)

流通・販売対策の推進

担当課：産業振興課

連携課：

〈現状および課題〉

高い収益性を確保するためには、気候や技術などを活用した陸別独自の安全・安心の農畜産物づくりを進め、農畜産物やそれらを利用した加工品の陸別ブランド化を進展させると共に、事業の拡大を図りながら、都市住民などとの交流を活かした流通・販売対策など、独自の販売ルートを確立していくことが重要です。

また、グリーンツーリズム・エコツーリズムなどや、農業を活用した観光・交流に取り組み、活力ある農山村づくりを進める必要があります。

〈基本方針〉

陸別の特性を活かした農畜産物および乳製品の加工品づくりなど、幅広い陸別ブランドづくりを進めます。また、都市部への産地直送販売や栽培契約など消費者の顔が見える農業を進めると共に、都市と農村の交流を図り農業の多面的な機能を活かした農村の活性化を図ります。



陸別町農畜産物加工研修センター

〈主な施策〉

①陸別ブランドづくり

- ・ 陸別産の農畜産物および乳製品加工の取り組み

陸別町農畜産物加工研修センターを活用し、陸別産の農畜産物及び乳製品を活かした消費者のニーズに合った加工品の研究開発の取り組みを推進します。

- ・ 陸別の特性を活かした野菜等の研究（陸別ブランド）

陸別町の寒冷な気候と寒暖の差を活かした野菜の研究開発をし、陸別の農畜産物のブランド化を強化します。

②流通・販売対策

- ・ 安定した販路の開拓

都市部などへの産地直送販売や栽培契約の推進など、消費者と直接つながる農業の推進を図ると共に、町民や観光客などへの消費拡大を進めます。

- ・ 生産者と消費者の交流

陸別の基幹産業である農業に関心を持ってもらうために、町民を対象とした農業体験交流会や、町外者を対象とした滞在型農業体験など、農業に対する理解を深める取り組みを推進します。

③都市との交流による農村の振興

- ・ グリーンツーリズム・エコツーリズムによる交流の推進

観光や滞在型体験学習・乳製品加工・農家の簡易宿泊所の登録など、新たな農業の取り組みへの支援を行います。

- ・ 農村景観の整備

陸別の自然環境を活かした農村の景観形成を進めます。また、離農跡地にある廃屋の解消に向け、関係機関との協議を進めます。

政 策	施 策	
2 豊かな森の資源づくり	(1) 緑豊かな森林の育成	I-2-(1)
	(2) 森の資源の有効活用	I-2-(2)

緑豊かな森林の育成

担当課：産業振興課

連携課：建設課

〈現状および課題〉

森林がもつ機能・役割は地球規模の環境意識が高まるにつれ見直されています。

森林がもつ環境保全や防災、水源かん養など公益的な機能が、広い視野での森林保全や育成を担う産業としても大きく期待されています。

一方、国内の木材需要が増えている状況で、町内の森林の伐採が盛んに行われていますが、伐採された森林のうち再造林されない森林も多く、無立木地が増加しています。

森林・林業は、この緑豊かな森林資源をあらゆる観点から保全し、育成する産業として経営基盤を強め、森林資源と共に、資源を継承する人材を育てることが必要です。

また、経済のグローバル化が進む中で、国内だけでなく世界の経済状況に対応できる林業経営が求められています。

〈基本方針〉

「陸別町森林整備計画」に基づき計画的な造林や管理に努め緑豊かな森林をみんなで守り、育てていきます。

また、国際経済に対応した事業への転換や、就労条件の改善を進め、担い手が育つ魅力ある林業の環境づくりに努めます。



〈主な施策〉

①森林の整備及び保全

・ 森林資源の維持造成の推進

森林の有する多面的機能を活かすために、地球環境保全に配慮しつつ、森林の機能が発揮できる適正な森林事業の実施や森林の保全に努めます。

・ 林道・作業道の整備

効果的な森林事業や森林の適正な管理経営に必要な林内道路の整備を進めると共に、林内道路網を有効に活用した森林整備に努めます。

・ 無立木地の解消

無立木地の解消に向け、森林所有者に対し、伐採跡地への植林等の森林育成の啓発を行います。また、高齢化や後継者不在による、森林育成が困難な無立木地についての公有林化を含めた対策を検討します。

②林業経営の改善

・ 林業事業体の体質強化

計画的な森林施業と林業従事者の雇用を確保するため、経営の多角化や合理化などにより、経営の体質強化、高度化のために支援をします。

・ 担い手の育成・確保対策

林業労働者の育成・確保のため雇用環境の整備等を進めます。また、森林所有者の後継者に対する対策として、町・森林組合・森林所有者が地域ぐるみで森林施業を計画的、効果的に進めます。

・ 森林施業の合理化の推進

高性能林業機械による効果的な作業システムの普及及び定着を図ります。

また、高性能林業機械の導入及び効率的な利用について事業者間における共同購入・共同使用等にかかる取り組みを支援します。

③国有林と共生の森林育成を進めるため、国と連携した取り組みを進めます。

政 策	施 策	
2 豊かな森の資源づくり	(1) 緑豊かな森林の育成	I-2-(1)
	(2) 森の資源の有効活用	I-2-(2)

森の資源の有効活用

担当課：産業振興課

連携課：

〈現状および課題〉

本町の総面積の8割を占める森林は、陸別での暮らしを支える大切な財産です。この恵まれた森林資源は産業面だけではなく、保健・文化・レクリエーション活動を目的とした利用が、年々増加しており、森林の多面的な活用を図り、豊かな資源から、より多くの恵みが得られる環境をつくるのが大切になります。

〈基本方針〉

銀河の森や宮の森風景林、ふれあいの森など、町民や観光客が親しめる森林空間環境づくりや、緑地帯・公園・街路樹など身近な緑の整備など、景観形成を図っていきます。



ふれあいの森

〈主な施策〉

①森林資源を活用した交流環境づくり

・ 森林を利用した交流促進

銀河の森や宮の森風景林、ふれあいの森などを有効利用した自然体験や滞在型交流を促進するための環境整備をハード・ソフト両面から進めます。

・ 町民と森林の交流促進

町民が森林を身近な存在として感じ、森林とのかかわりを深めるための機会づくりを進めます。

・ 森林体験の受け入れ態勢の確立

森林ガイドの育成や林業体験の実施などに向けた人材の育成を進めます。

②木材の流通と加工施設等の整備

・ 木材加工事業の推進

森林資源の活用方策として、地場産品の地場加工を推進するため、木材加工場や2次加工場の起業や誘致の取り組みを進めます。

・ 林産物利用の開発・研究の推進

豊富な資源である林産物に付加価値をつけるために、商品の開発・研究を推進します。

・ 陸別町産材を活用した、住宅建設についての研究を推進します。

③林地残材のエネルギーとしての活用について検討を進めます。



町民植樹祭

政 策	施 策	
3 地域を支える活力ある商工業づくり	(1) 活力ある商工業の育成	I-3-(1)
	(2) 地域産業と連携したブランドづくり	I-3-(2)
	(3) 雇用の安定	I-3-(3)

活力ある商工業の育成

担当課：産業振興課

連携課：

〈現状および課題〉

国内経済の低迷による個人消費の低下や、公共事業の減少によるきびしい経済状況に加え、人口減少や消費者ニーズの多様化・交通手段やインターネットの発達などにより、町内の購買力は低下傾向にあります。

また、当町の商工業者は小規模事業所や個人経営が多く、高齢化や後継者不在による廃業が増加しています。

商工業者の事業撤退と廃業は町内経済を疲弊させる要因となるため、陸別町商工会を中心として商工業の振興に努める必要があります。

本町は、寒冷な気候条件を最大限に利用した取り組みで、日産自動車の試験場誘致の実績があります。今後も地域の特色を活かした企業誘致活動を進めて、地域経済の活性化を図る必要があります。

〈基本方針〉

社会環境に柔軟に対応した商工業を確立するために、情報を的確に収集し、本町に適した商業体系の確立や不在業種の解消など、本町における商工業の役割を十分に発揮できる仕組みを作っていきます。

〈主な施策〉

①活力ある商工業等の振興

- ・ 商工会の機能強化

陸別町商工会を中核的な組織として、町・事業所とが一体となった商工業の振興を図ります。

- ・ 経営の支援

町内商工業者の健全な経営および設備投資などに対する融資制度などにより、商工業の振興を図ります。

- ・ 陸別町にあった商業体系の確立

高齢者の増加により交通弱者が増加する中で、すべての人が快適な生活を送れるような商業体系を整えます。また、中心市街地に点在する空き店舗を有効利用したまちづくりを進めます。

②企業誘致と起業の支援

- ・ 企業誘致の取り組みの強化

陸別町の寒さや地震が少ないことなどの自然環境を前面に押し出した企業の誘致を積極的に進めると共に、そのための的確な情報収集を行います。また、新エネルギーを活用した、発電所やプラントなどの誘致を進めます。

- ・ 起業の支援

国や北海道・商工会と連携し、起業や既存事業所等の新規事業への取り組みを支援します。

- ・ 不在業種対策

町民の生活基盤の維持のため、不在となっている業種への進出・起業に対する支援をします。

政 策	施 策	
3 地域を支える活力ある商工業づくり	(1) 活力ある商工業の育成	I-3-(1)
	(2) 地域産業と連携したブランドづくり	I-3-(2)
	(3) 雇用の安定	I-3-(3)

地域産業と連携したブランドづくり

担当課：産業振興課 連携課：

〈現状および課題〉

本町は、地場産品として森林資源を活用した山菜加工品、木材加工品、エゾシカの加工品を製造販売しているほか、陸別産の農畜産物のブランド化を進めています。

今後は豊富な自然環境から生まれた地場産品を高付加価値化するため、陸別町内の統一したブランド形成が必要となっています。

〈基本方針〉

㈱陸別町振興公社を中心として、農業協同組合、商工会などが連携した流通体系の確立、商品の研究開発やブランドづくりへの取り組みを支援します。

また、個人や民間企業が商品開発等の事業展開を積極的に取り組めるような環境づくりを進めます。



〈主な施策〉

①陸別のブランドづくりと流通体系の確立

・ 地域資源のブランド化推進

北海道ブランド・十勝ブランドと連携し、陸別町の農畜産物・林産物・しばれ・星空がもつ魅力をブランド化し、価値を高めるために関連する機関が連携した取り組みを振興します。

・ 流通体系の確立

町内の関連する機関が連携した生産～製造～販売のシステムづくりを進めます。また、町内商店での販売やインターネットを利用した広域的な販売など幅広い対応を進めます。

・ PR活動の推進

多様な媒体を利用したPR活動を進めます。

②新商品や加工品の開発・研究の促進

・ 農畜産物・林産物の加工開発研究の促進

農畜産物加工研修センターや大学・公的試験機関を活用した開発・研究を進めます。

また、民間の力を取り入れた開発・研究を支援します。



政 策	施 策	
3 地域を支える活力ある商工業づくり	(1) 活力ある商工業の育成	I-3-(1)
	(2) 地域産業と連携したブランドづくり	I-3-(2)
	(3) 雇用の安定	I-3-(3)

雇用の安定

担当課：産業振興課

連携課：

〈現状および課題〉

国内経済の低迷によるきびしい地方経済の影響を受け、本町の雇用不安は、非常に大きくなっています。特に建設業では、国や地方の公共事業の減少の影響が大きく、会社の倒産・事業の縮小により働く場所が減少しており、雇用状況は不安定になっています。

このような中で、基幹産業である、農業や林業の振興の取り組みを進めることにより、新たな職場を創造し、安定した雇用環境を整える必要があります。

〈基本方針〉

きびしい雇用状況の中、安定的な雇用の場の確保のため、基幹産業である農業や林業と連携した雇用対策を積極的に進めます。

さらに、労働条件や勤労者福利厚生充実を図り、労働者の健康や労働環境の向上の取り組みを進めます。



〈主な施策〉

①雇用の創造と安定化

・ 地域産業との連携による雇用の拡大

企業誘致や農業・林業などの基幹産業との連携により、新規雇用の創造を図ります。

・ 職業能力開発の促進

関係機関との連携による基礎的な職業知識や能力を高めるため、学習機会の提供に努めます。

②労働者の労働環境の確保

・ 勤労者福祉の推進

安心して働ける労働環境の確保・向上のための、雇用主や労働者団体の活動の支援を行います。

・ 労働者の生活安定

労働者の生活安定のため、生活資金貸付制度等による支援を行います。

・ 労働環境の確保

雇用条件の適正化に向けた事業者の意識啓発と、労働者への情報提供を行います。

・ 季節労働者対策の推進

建設業や林業等における季節雇用労働者の通年雇用化を図ります。また、季節労働者や失業者の生活安定のための支援を行います。

政 策	施 策	
4 個性あふれる交流 ・観光拠点づくり	(1) 特色ある観光資源の整備	I-4-(1)
	(2) 観光ソフト事業の充実	I-4-(2)

特色ある観光資源の整備

担当課：産業振興課

連携課：総務課

〈現状および課題〉

こころや体の健康に対する意識が高まる中で、豊かな自然と満天の星空を活かした陸別町の観光は大きく注目されています。なかでも銀河の森では、天文台を核とした森林レクリエーションや各種観望会、展望会が行われ、近接の宿泊施設コテージ村と一体となった観光施設として、1年をとおして観光客が訪れています。

そのほかにも、森林浴に最適なふれあいの森や、氷河期の生き残りとも言われるナキウサギの生息する北稜岳など、豊かな自然の中でその恩恵にあずかっています。平成18年4月に廃線となった「ふるさと銀河線」を利用した体験型鉄道公園「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」が平成20年にスタートし、ふるさと銀河線車輛の陸別駅構内での運転体験やトロッコ運転が行われています。

本町の特色ある観光資源が連携することにより、さらに魅力を引き出し、多くの観光客を誘致することにつながります。

今後は、北海道道東自動車道の更なる整備により、十勝・釧路・オホーツク圏の中間地点とし交通量の増加が見込まれる中で、観光協会を中心として、町や商工会が情報を共有し、連携しながら、単なる通過点としてではなく、魅力ある観光地としての整備を進める必要があります。

〈基本方針〉

自然を通じた交流拠点として、銀河の森の環境を整えると共に、ふれあいの森や北稜岳などを活用して、自然とふれあう機会づくりを進めます。また、この自然を求め、町外から多くの人々が、気軽に訪れることができるよう、交通アクセスや町内交通手段の充実、これら豊かな自然への案内など受入体制を整えていきます。

〈主な施策〉

①自然環境と調和した観光の充実

・天文台を中心とした銀河の森の整備

星空と森林を活かした、銀河の森の整備をハード・ソフト両面から促進します。また、イベント広場・陸別サーキットが一体となった銀河の森の整備を進めます。

・森林を活かした観光施設の充実

豊富な森林資源を有効に活用するため、ふれあいの森・宮の森風景林・北稜岳・カネラン峠の自然体験施設の充実を図ります。また、豊富な自然環境を保全する意識の向上を図ります。

・森林ガイドや自然体験観光を担う人材の育成

当町の魅力である自然環境を観光客に伝えるために必要な人材の育成を進めます。

②道東観光の中継地としての交通アクセスの向上

・道の駅の充実

道の駅の役割を向上させるために周辺道路や駐車場の利便性の向上を図ります。また、道の駅と一体となった周辺観光施設の整備を進めます。

・観光と地域交通の連携

観光客が既存の地域交通を利用しやすい環境づくりを進めます。また、町内の観光施設間の交通手段の確保を図ります。

・交通ネットワークの整備促進

陸別町が道東観光の中継点として、国道・道道の安全性・利便性の向上を推進しそれらと連携した町道の整備を進めます。また、より広いエリアにおける観光ネットワークを構築するため、高速道路の機能強化を求めています。

③景観の保全と向上

・森林・星空・田園風景など都会や他の地域にはない陸別だけの魅力の保全・向上に努めます。

政 策	施 策	
4 個性あふれる交流 ・観光拠点づくり	(1) 特色ある観光資源の整備	I-4-(1)
	(2) 観光ソフト事業の充実	I-4-(2)

観光ソフト事業の充実

担当課：産業振興課

連携課：総務課

〈現状および課題〉

ふるさと銀河線りくべつ鉄道や、しばれフェスティバルなど、地域特性を活かしたイベントを中心に、年間15万人の観光客を集めていますが、その9割以上は日帰り客が占めています。大型連休が増加するなか、イベントをこの地に訪れるきっかけとし、何度も体験したくなるような時間消費型の観光ソフトづくりや、地域産業との連携を高め、地域と一体的な仕組みを作ることが必要です。

〈基本方針〉

既存のイベントや体験企画に加え、森林や星など新たなイベントや、体験企画の充実を図ると共に、観光協会を中心に推進組織の強化や組織間のネットワークづくりを進めます。

さらに、観光PRの強化を図ると共に、農林産物を活用した料理やお土産の販売、観光ホスピタリティの向上に努め、地域が一体となって観光客を迎え、こころからもてなす環境をつくっていきます。

〈主な施策〉

①陸別の特性を活かした観光・物産振興

・地域主導の体験企画の観光商品開発

しばれフェスティバルやオフロードレースのほか、陸別町の特徴を活かした満足度の高い体験企画の開発を進めます。

・体験滞在を促進するソフト事業の展開

天文台・各種イベント・りくべつ鉄道・歴史・自然を活かし、それぞれが連携したソフト事業の企画づくりや人材育成・確保を推進すると共に、受入体制の確立を目指します。

- ・ **自然学習型、健康づくり型の観光資源の発掘**
エコツーリズム、グリーンツーリズムなどに資する自然学習型、農村などを舞台とした体験・参加型、森林などを活用した健康づくり型の観光資源を発掘します。
- ・ **陸別町の特性を活かした物産振興**
特色ある物産の開発を行うために、⑭陸別町振興公社を中心に町民や関係機関が連携した取り組みを支援します。

②活動組織の育成

- ・ **観光協会の機能強化**
観光協会を中心として、町内の関係機関が連携した観光振興を図ります。また、町内の観光ソフト事業を推進するにあたり、中心となる人材の配置について、関係機関の皆さんとの検討を進めます。
- ・ **ホスピタリティの向上とボランティアの育成**
町全体で観光客を迎え入れるために、ホスピタリティの向上に努めます。また、町のことを一番知っている町民が観光に携わる人材として活躍できるような体制づくりを行います。
- ・ **陸別町の魅力向上のためのパートナーシップの確立**
観光関係者、商工会のほか、町内で農業、林業、商業・サービス業など幅広い産業間パートナーシップを確立すると共に、周辺地域やテーマを同じくする遠方の観光地と連携することによって魅力を高めアイデンティティを強化します。
- ・ **インストラクターやガイドの育成**
体験観光の担い手としてのインストラクターやガイドを育成すると共に、活動組織のネットワーク化を図ります。
- ・ **広域的な観光推進体制の拡充**
十勝や道東の地域と連携し、観光の活性化を図ります。

③観光PRの強化と効率的な情報の提供

・ マスコミやITを利用したPR

都市圏などへ、広域的にPRをするために、マスコミなどの多様な媒体を効率的に利用してPRを推進します。また、日々向上するIT技術を的確に使用し、幅広いPR活動を進めます。

・ 旅行会社と連携した旅行商品のPR

地域密着型「ニューツーリズム」旅行商品などの多様な商品を多様な販路により低コストで効果的に旅行者に提供するため、旅行会社との連携を進めます。

・ 地域間交流、ふるさと会などとの連携

友好町民の会・電機連合・ふるさと陸別会などと連携したPRを進めます。



しばれフェスティバル 人間耐寒テスト